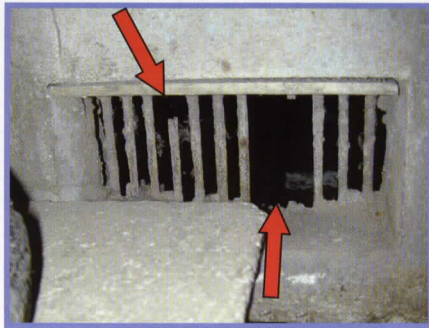
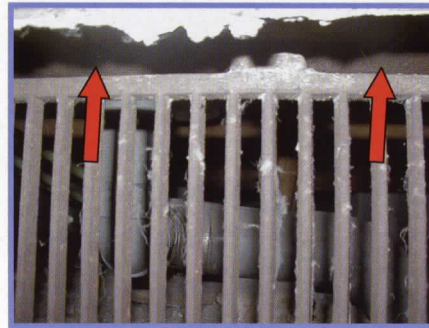


# ネズミの侵入箇所点検実例写真集

屋外編 ~ポイントは2.5cmの隙間です~



床下通風口の破損



破損はないが上部に隙間がある  
(鏡を使い下から見ること)



フタなし散水栓ボックス



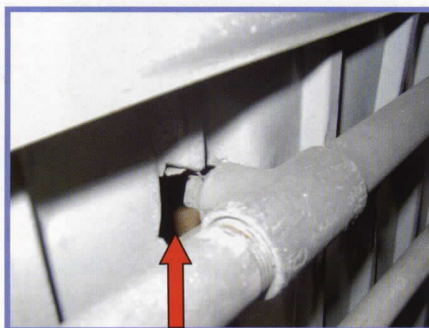
基礎と壁の間に隙間あり  
(鏡と指を使い点検)



角は特に隙間がしやすい  
(鏡の中に隙間が見えます)



バランス釜排気口の上部



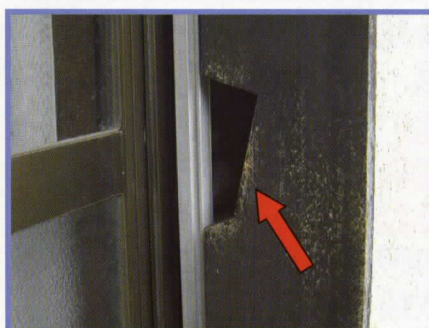
水道管の壁貫通部分



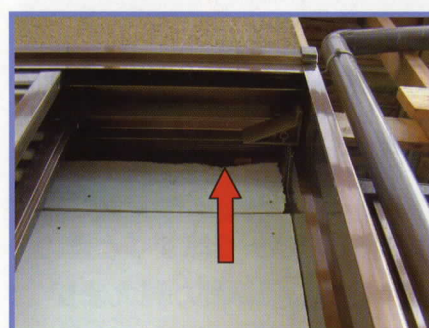
エアコン配管の壁貫通部分  
(パテがはがれている)



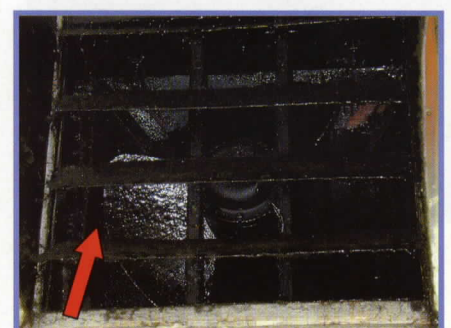
配管にカバーがついている場合  
開口部に注意



雨戸の戸袋から壁の内部へ  
侵入することが多い



戸袋内部の石膏ボードが  
削られていた例



換気扇のダンパーが閉じないと  
壁を登り直接台所へ



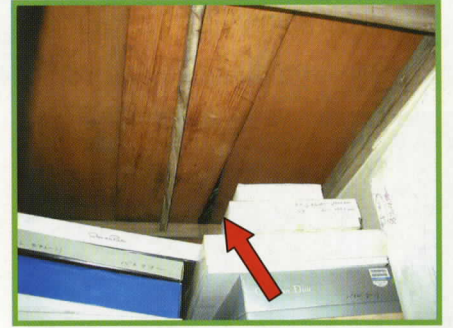
# 屋内編 ～台所や室内にも出ている方～



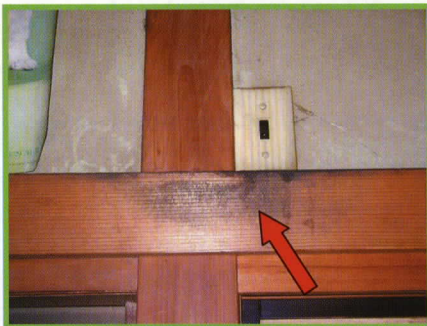
玄関のカマチの下からでてくる



洗濯機の排水口が大きい場合



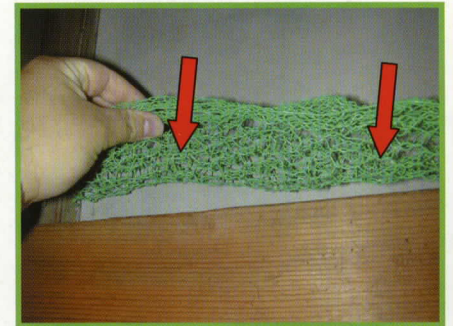
押入の天板がずれている場合



和室のカモイ(ナゲシ)を通り道にしているため真っ黒に



カモイ(ナゲシ)の隙間アップ



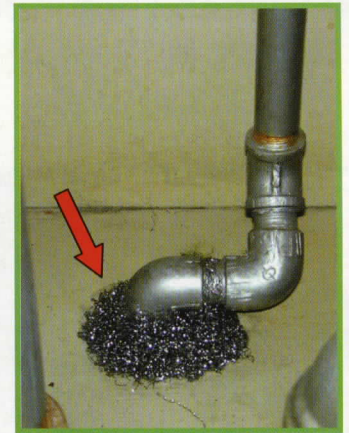
金網をつめて隙間をふさぐ



コンベック点検口内部より配管まわりに隙間が



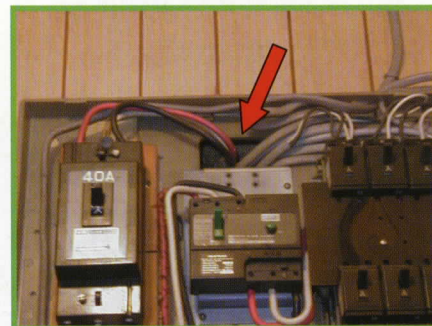
流し台下の排水管まわり



そこを金属タワシでふさぐ



ブレーカー下部から出入していたためカバーが真っ黒



分電盤のカバーをはずすと壁の内部に通じる隙間が見えます

## ⚠ 警告と注意

分電盤やブレーカー周辺は、自分で穴ふさぎを行わないでください。感電や火災など思わぬ事故につながる恐れがあります。疑わしい時は必ず電気工事業者に依頼してください。